

令和4年度 横浜市たまプラザ地域ケアプラザPDCAシート_公表用
(事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

・担当地区においては、住民の転入出や高齢の親御さん呼び寄せられるケースが多い地域です。そのため地域ケアプラザの機能や役割が周知されていないこともあり、ケアプラザの総合相談機能や地域・福祉活動の場としての役割が、より多くの地域住民に知っていただけるよう、地域福祉保健団体・関係機関と連携して周知に努めます。

・新型コロナウイルス感染の状況を見極めながら、地域住民とケアプラザ職員が多種多様な方法で交流の機会が持てる仕組みを構築していきます。

・高齢者人口の増加に伴い、認知症、もしくはその疑いのある相談件数が増えている状況を鑑み、認知症状や認知症の方への適切な対応について普及啓発し、認知症の方やその家族を支えることのできる地域づくりを目指します。また、地域の福祉保健関係者・団体や支援機関、高齢者支援を行っている民間事業者等と共に、援助を必要とする方への支援を行い、そのために必要な支援ネットワークの構築を推進します。

・時代や社会の変化の影響で家族・親族関係にも多様性が広がり、疎遠・絶縁や身寄りのない高齢者が増加しています。そのような対象者・世帯に対し、適切な意思決定・権利擁護支援を実施していきます。

・8050問題や重大な権利侵害ケース等々の複合的多問題を抱える案件も浮き彫りになってきています。多職種・関係機関・団体と連携しながら横断的支援を実施していきます。

・健康意識の高い地域性のため、「ポジティブエイジング」の考えを広め、健康長寿に対する意識がより高まるよう介護予防活動を実践していきます。

・駅近で子育て世帯も多く在住する地域のため、気軽に立ち寄れる場所・機会を求められています。子育て支援機能強化型ケアプラザの特長を活かし、親子で参加できる場所や機会を提供していきます。

今年度の重点的な取組

新規
継続

— 具体的な取組内容 —

■ 福祉出前講座のプログラムを充実強化し、地域の福祉保健関係者・団体にプログラム一覧表を配布して、講座や説明会を開催しながら、地域ケアプラザの機能や役割を説明していきます。

■ 自治会や企業、民間事業所、福祉保健施設等にWebを活用した地域ケア会議や情報交換の場を提供して、既存の活動が維持継続していけるよう共に検討していきます。
また、地域住民が気軽に集える新たな場(地域サロン等)の構築について、住民主体の活動を支援していきます。

■ 認知症予防カフェのプログラム内容や体制を適宜精査しながら、介護者家族の集い等の事業と関連して、認知症患者とその家族を支える体制を強化します。
認知症サポーター養成講座を開催して、受講された方が認知症に対する理解が深め、地域の中でボランティアとして活動していただけるよう働きかけていきます。

■ 地域の医療・看護・介護・福祉の関係者・機関・団体との情報共有や、個別相談の地域・相談種別等の分析を行い、地域の課題把握に努めます。
地域でお困りごとを抱える高齢者・障がい者・生活困窮者等に対し、早期発見、早期対応の体制を構築し、関係機関・団体と連携して支援していきます。

■ 地域の子育て世帯を対象にした事業を多角的に展開していきます。乳幼児向けには「親子リトミック」や「お話し会」等、お子さんの成長に寄り添うプログラムを展開していきます。小学生向けには、過去の事業で関心の高かったワークショップを企画して、知的好奇心を喚起させるよう、講座を開催していきます。また、各事業には近隣の大学生ボランティアにも関わりを求め、多世代交流の意味合いも持たせていきます。

■ 昨年度から定期開催している親子のあそび場事業「スマイル♡ファミリー」については、子育て世代の方が気軽に来館し、交流や情報共有の場とします。保育士資格のもつ専任の職員を配置して、地域の子育て支援機能を強化し対応していきます。
また、子育て拠点ネットワーク構築について、近隣の公立私立保育園と定期的なWeb会議を開催し、子育て支援の情報共有、地域連携の場づくりに寄与していきます。Web環境を活用して、親子のあそび場と各拠点(保育園)をつないで、保育士と子育て世代との交流を図っていきます。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

区からのコメント

令和4年度横浜市たまプラーザ地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<p>○地域住民からお問合せがあった場合、その方の属性(居住地や世代等)にかかわらず、すべての方に対して丁寧且つ公平中立に対応します。</p> <p>○介護保険サービスに関する利用希望があった際、介護サービス事業者ガイドブックの内容に基づいて複数の事業所を提示します。</p> <p>○居宅介護支援事業所や介護保険サービス事業所等を仲介・調整する際、本人、家族には各事業所の特徴や内容、所在地等の情報を伝えた上で、本人、家族に選定していただきます。本人、家族の意向を尊重して、特定の事業所にサービス提供依頼が偏らないように公正・中立性を確保します。</p> <p>○ケアプラザ貸館については、施設利用マニュアルを遵守し、公平性をもって施設管理運営を行います。駅近の立地のため、区民の貸館利用希望が多く、利用希望が競合する場合には公開抽選をもって公正中立的に対応します。</p>	<p>○事故防止については、様々な状況を想定した対応を備えておきます。全職員が横断的に組織構成している『安全管理委員会』において、[防火・防災対策][医療・感染症対策][車両整備][事故防止・インシデント対策]の専門部会を設けて、定期的な会議を実施して、事案の検証と設備点検作業を行っています。年度末には、年間で発生した「インシデント・事故」報告内容を全職員で振り返り、同じ事案が起こらないよう全職員の意識を高めていきます。</p> <p>○個人情報保護については、「個人情報保護に関する規程」を定め、職員に遵守することを義務付けます。個人情報保護研修は年に1回必ず実施し、個人情報の取り扱い方や自主点検を行い、漏えい事故防止に努めます。個人情報を送信する場合は、個人情報部分を必ずマスキングして、誤送付誤送信しないよう、必ず複数名で確認します。</p>
実績		

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	<p>○地域包括支援センター職員や介護予防プランナーが、ご利用者に寄り添い、ご利用者が望む在宅生活を送れるよう、自立に向けた介護予防ケアマネジメントが行えるように努めていきます。</p> <p>○担当地域の居宅介護支援事業所(ケアマネジャー)が、ご利用者の自立に向けた介護予防支援・ケアマネジメント業務が適切に行えるように、支援していきます。</p> <p>○「要支援」の介護認定を受けている方が増えているため、担当地域外の居宅介護支援事業所とも連携し協働していきます。</p> <p>○介護予防ケアマネジメントの手法について、適宜研修を開催して、ケアプラン作成担当者の個々のスキルアップに寄与していきます。</p>	<p>○ご利用者の心身の状況やご意向に応じて、適切なサービスが利用できるようケアマネジメントを行い、望まれる在宅生活の実現を支援します。</p> <p>○併設する地域包括支援センターと連携して、地域課題を含め対応困難な事例にも積極的に取り組んでいきます。</p> <p>○他の居宅介護支援事業所と連携し、ケアマネジメントの手法について、医療・保健・介護等を包括的に捉えた研修を行い、介護支援専門員個々のスキルアップに努めます。</p> <p>○各ケアマネジャーの給付上限件数を保持し、継続した収入の安定を図ります。</p>
利用料金・実費負担		
職員体制	看護師1名 ケアマネジャー2名 社会福祉士2名 計5名(管理者1名含)	ケアマネジャー 計3名(常勤兼任1名、常勤専従2名)
契約者数		

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標			
実施体制	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金・実費負担			
職員体制			
契約者数等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和4年度「横浜市たまプラーザ地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	18,924,000		18,924,000		18,924,000	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	100,000		100,000		100,000	
雑入	60,000	0	60,000	0	60,000	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料	60,000		60,000		60,000	
その他			0		0	
その他	0		0		0	
収入合計	19,084,000	0	19,084,000	0	19,084,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,595,000	0	10,595,000	0	10,595,000	
本俸	7,500,000		7,500,000		7,500,000	
社会保険料	700,000		700,000		700,000	
手当計	2,200,000		2,200,000		2,200,000	
健康診断費	30,000		30,000		30,000	
勤労者福祉共済掛金	35,000		35,000		35,000	
退職給付引当金繰入額	80,000		80,000		80,000	
その他	50,000		50,000		50,000	
事務費	1,342,000	0	1,342,000	0	1,342,000	
旅費	20,000		20,000		20,000	
消耗品費	200,000		200,000		200,000	
会議随費	10,000		10,000		10,000	
印刷製本費	250,000		250,000		250,000	
通信費	350,000		350,000		350,000	
使用料及び賃借料	217,000	0	217,000	0	217,000	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	17,000		17,000		17,000	
その他	200,000		200,000		200,000	
備品購入費			0		0	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	180,000		180,000		180,000	
職員等研修費	50,000		50,000		50,000	
振込手数料	15,000		15,000		15,000	
リース料			0		0	
手数料			0		0	
地域協力費	50,000		50,000		50,000	
その他			0		0	
事業費	700,000	0	700,000	0	700,000	
運営協議会経費			0		0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	700,000		700,000		700,000	
その他			0		0	
管理費	4,130,000	0	4,130,000	0	4,130,000	
光熱水費	1,000,000		1,000,000		1,000,000	
清掃費	1,200,000		1,200,000		1,200,000	
機械警備費	120,000		120,000		120,000	
設備保全費	1,810,000	0	1,810,000	0	1,810,000	
空調衛生設備保守	1,700,000		1,700,000		1,700,000	
消防設備保守	80,000		80,000		80,000	
電気設備保守			0		0	
害虫駆除清掃保守			0		0	
駐車場設備保全費	30,000		30,000		30,000	
その他保全費			0		0	
共益費			0		0	
その他			0		0	
修繕費	474,000		474,000		474,000	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	17,241,000	0	17,241,000	0	17,241,000	
差引	1,843,000	0	1,843,000	0	1,843,000	

自主事業費 収入	100,000	0	100,000	0	100,000	
自主事業費 支出	700,000	0	700,000	0	700,000	
自主事業 収支	△ 600,000	0	△ 600,000	0	△ 600,000	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	60,000	0	60,000	0	60,000	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	17,000	0	17,000	0	17,000	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	43,000	0	43,000	0	43,000	

*各大大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和4年度「横浜市たまプラーザ地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	30,426,000		30,426,000		30,426,000	横浜市より
指定管理料【介護予防】	150,000		150,000		150,000	横浜市より
指定管理料【生活支援】	4,680,000		4,680,000		4,680,000	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
収入合計	35,256,000	0	35,256,000	0	35,256,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	30,935,000	0	30,935,000	0	30,935,000	
本俸	17,000,000		17,000,000		17,000,000	
社会保険料	3,950,000		3,950,000		3,950,000	
手当計	9,400,000		9,400,000		9,400,000	
健康診断費	50,000		50,000		50,000	
勤労者福祉共済掛金	35,000		35,000		35,000	
退職給付引当金繰入額	450,000		450,000		450,000	
その他	50,000		50,000		50,000	
事務費	1,215,000	0	1,215,000	0	1,215,000	
旅費	20,000		20,000		20,000	
消耗品費	250,000		250,000		250,000	
会議滞在費			0		0	
印刷製本費	200,000		200,000		200,000	
通信費	500,000		500,000		500,000	
使用料及び賃借料	155,000	0	155,000	0	155,000	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	5,000		5,000		5,000	
その他	150,000		150,000		150,000	
備品購入費			0		0	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	45,000		45,000		45,000	
職員等研修費	20,000		20,000		20,000	
振込手数料	25,000		25,000		25,000	
リース料			0		0	
手数料			0		0	
地域協力費			0		0	
その他			0		0	
事業費	900,000	0	900,000	0	900,000	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	50,000		50,000		50,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	100,000		100,000		100,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	120,000		120,000		120,000	
その他			0		0	
管理費	1,340,000	0	1,340,000	0	1,340,000	
光熱水費	300,000		300,000		300,000	
清掃費	330,000		330,000		330,000	
機械警備費	30,000		30,000		30,000	
設備保全費	480,000	0	480,000	0	480,000	
空調衛生設備保守	450,000		450,000		450,000	
消防設備保守	20,000		20,000		20,000	
電気設備保守			0		0	
害虫駆除清掃保守			0		0	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	10,000		10,000		10,000	
共益費			0		0	
その他	200,000		200,000		200,000	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	34,516,000	0	34,516,000	0	34,516,000	
差引	740,000	0	740,000	0	740,000	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	270,000	0	270,000	0	270,000	
自主事業 収支	△ 270,000	0	△ 270,000	0	△ 270,000	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	5,000	0	5,000	0	5,000	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 5,000	0	△ 5,000	0	△ 5,000	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和4年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市たまプラザ地域ケアプラザ

2022年4月1日 ~ 2023年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	3,900,000			6,550,000		6,550,000	21,220,000		21,220,000			0			0
	その他	0	0	0	0	0	0	100,000	0	100,000	0	0	0	0	0	0
	事業・負担金収入			0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0	100,000		100,000			0			0
収入合計(A)	3,900,000	0	3,900,000	6,550,000	0	6,550,000	21,320,000	0	21,320,000	0	0	0	0	0	0	
支出	人件費			0			0	21,900,000		21,900,000			0			0
	事務費			0			0	1,745,000		1,745,000			0			0
	事業費			0			0	235,000		235,000			0			0
	管理費			0			0			0			0			0
	その他	2,600,000		2,600,000	3,750,000	0	4,000,000	350,000	0	350,000	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料	2,600,000		2,600,000	3,750,000		4,000,000			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0	350,000		350,000			0			0
支出合計(B)	2,600,000	0	2,600,000	3,750,000	0	4,000,000	24,230,000	0	24,230,000	0	0	0	0	0	0	
収支 (A) - (B)	1,300,000	0	1,300,000	2,800,000	0	2,550,000	-2,910,000	0	-2,910,000	0	0	0	0	0	0	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和4年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業

- 1: 地域活動交流事業
- 2: 地域包括支援センター運営事業
- 3: 生活支援体制整備事業
- 4: 共催 (1と2)
- 5: 共催 (1と3)
- 6: 共催 (2と3)
- 7: 共催 (1と2と3)

■ 事業の性質

- 1: 優先的に取り組みが求められる事業
- 2: 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1: 高齢者
- 2: 障害児・者
- 3: 養育者及び乳幼児
- 4: 子ども・青少年
- 5: 地域
- 6: 事業者
- 7: その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	介護者家族の集い	平成30年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	介護者家族を対象に、同じような介護の悩みや不安を抱えている人同士のピアカウンセリングや、日々の介護で役に立つ情報共有や交換、一時介護を離れて心身の休息(レスパイトケア)を目的として開催する。	7: その他		ミニ講話や茶話会を中心に開催。 ・会場 たまプラーザ地域ケアプラザ 美しが丘地域ケアプラザ ・年5回開催 ・美しが丘地域ケアプラザ共催		
2	福祉講座	平成29年度	2: 地域包括支援センター運営事業	2: 発展させるねらい	たまプラーザ地帯を中心に担当地区域での独居高齢者、高齢世帯の増加とそれに伴う相談が顕著になりつつある(個別総合相談ケース、来館者・地域の会合等からのヒアリング、地域ケア会議等々より)。上記を鑑み、急な体調不良等の相談、問い合わせ先、一時的な生活上課題が生じた場合の手段、日常での見守りサポートの選択肢、将来的に疾患や認知症等を発症した時の対応や利用できる制度等々について、住民に適切に情報が届くことを目的として、第7期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の中に戦略として「本人による自己決定支援、エンディングノート等の作成・普及等」が位置付けられている。それを受けて「わたしノート」を手元に置いて終わりにするのではなく、実際に記入しコロナ禍が続きフレイル予防のために参加を促す。正しい姿勢で呼吸法を学び、声を出すことで口腔機能の改善、向上の促進を目指す。地域のシニアの居場所づくりや交流を図る。	1: 高齢者	5	これまでの事業アンケートや地域住民・福祉保健関係者からのヒアリングをもとに抽出された課題を基にテーマを設定し、複数回に分けて各制度・サービスを提供している機関、事業所、企業等を講師やパネリストに招いて講座形式で実施。 ・会場 たまプラーザ地帯集会場 ・年4~6回開催		
3	わたしノートサロン	平成30年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	第7期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の中に戦略として「本人による自己決定支援、エンディングノート等の作成・普及等」が位置付けられている。それを受けて「わたしノート」を手元に置いて終わりにするのではなく、実際に記入し	1: 高齢者	5	講座形式で1回、サロン形式で全5回で開催する。 ・会場 たまプラーザ地域ケアプラザ 美しが丘地域ケアプラザ ・美しが丘地域ケアプラザ共催		
4	健康ボイストレーニング	令和元年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	コロナ禍が続きフレイル予防のために参加を促す。正しい姿勢で呼吸法を学び、声を出すことで口腔機能の改善、向上の促進を目指す。地域のシニアの居場所づくりや交流を図る。	1: 高齢者	5	I期5月~8月、II期9月~12月(8月12月は実施しない)ストレッチで体をほぐし、腹式呼吸を学び声の出し方を学ぶ。		
5	おりがみサロン	平成30年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	カフェの壁面を飾る季節のお花を折り紙で作る。おりがみボランティアを育成も目指す。音楽や体操を苦手とする方の外出機会と居場所作り。	5: 地域		季節のお花を折り紙で作ることを目的としたサロンを開催。 折り紙ボランティア大宮幸子さんと折る作品についてご提案いただき、ご相談し、折り図や折り紙はCPで用意し、参加者が読み解き、お互いに教え合い、協力しての形		
6	おとなのぬりえ	平成30年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	講師不要で、経験も技術も不要、気軽に参加でき、脳への刺激効果でリフレッシュや認知症予防を期待。音楽も運動も興味のない方への集いの場、居場所作り。	5: 地域		各自好きな下絵を選び、ぬり絵をする。出来上がったものは額に入れて鑑賞し合うなど交流しながら、思い思いに、ゆったりとした活動を目指す。		
7	スマイル♡ファミリー	令和3年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	「おやおそび場」に代わる子育て支援事業として開催する。子どもを安全な環境で遊ばせながら、親子でのふれあいを主眼に、地域での交流、仲間作り、居場所作り、育児不安や孤立や疑問の解消を目指す。	4: 子ども・青少年	5	・午前2時間、午後2時間の事前申込なしによる事業。 ・保護者はマスク必須。検温の上、手指消毒を済ませて参加。定員を概ね10組。利用は1週間1に1度1時間(簡易な規約を作成し、感染症対策と併記)		
8	あかちゃんのねんね講座	令和4年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	単発。各回申込。あかちゃんのねんねに対して夜泣きや嘔りなど悩む親が多いため、睡眠に対してのミニ講座を行いその後個別質問の時間を設ける。美しが丘や山内の子育てNW会議にて「気軽に相談できる場が欲しい」「ママの女性と話し単発。各回申込。子育て支援事業の強化	4: 子ども・青少年	5	ミニ講座の後参加者には個別質問の時間 おもちゃで遊んだり親子の交流を図る		
9	たまプラーバビーマッサージ	令和3年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	子育て期の親にリラックスして過ごしていただく時間とする。 閉じこもり予防・仲間づくり及び、居場所としての役割を担う。単発。各回申込。子育て中の母親と子どもの居場所づくりと交流・仲間づくり、親子のスキップの機会を作る。また、親子での絵本との出会いを創出する。 おはなし会の後で、気軽に子育てや絵本のことで相談できる機会を設ける	4: 子ども・青少年	5	ベビーマッサージの講座(講師1名) 講座終了後、参加者が子育てで気になる事があれば、フレイクタイムとしてお話をしていた。		
10	親子で楽しむおはなし会	令和4年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	おはなし会の後で、気軽に子育てや絵本のことで相談できる機会を設ける	4: 子ども・青少年	5	絵本の読み聞かせを中心に、親子で触れ合うわらべ歌や絵本にちなんだ工作、パネリストター、紙芝居等を取り入れたお話し会。		
11	ママヨガコンサート	令和4年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	あかちゃんとママにリラックスして親子で遊んだり交流したりする時間とする。ママはヨガをやったりリラックスしてピアノの音楽を聴く。	4: 子ども・青少年	5	ママはヨガをやったりリラックスしてピアノの音楽を聴く。親子の交流を図る。		
12	どうようスマイル	令和3年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	ケアプラザで安心して親子で楽しく活動したり、情報交換など親同士の交流できる居場所とする。地域と繋がり、他者との交流のきっかけを作るための場の提供。就労していても、地域で仲間作りをしていくことを目的とする。	4: 子ども・青少年	5	親子でリトミックなどをやったり交流を図る		
13	子どものおもちゃを作ってみよう	令和3年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	・発達心の心配のあるお子さんをお持ちの親子でも楽しく遊べる場「あおぼおもちゃのひろば」の周知として、たまプラーザ地域の親子のフリータイムとして開催する。	4: 子ども・青少年	5	・「あおぼおもちゃのひろば」の出張による、発達心の心配のあるお子さん・障害のあるお子さんやそのご家族・集団が苦手なお子さんやご家族が安心して過ごせるよう、またふれあひあおぼでの情報発信。 ・子遊ばせながら、3回に分けてWSを実施		
14	子ども夏冬春休み宇宙ワークショップ	令和3年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	・宇宙についての講義を聞き、工作作成しどのようにしたら、遠くに飛ばせるかを考えながら試行錯誤し、親子で考えながら実験することで、学ぶ面白さを実感し、知識を深めたい。	4: 子ども・青少年	5	宇宙についてのミニ講座。ペンシルロケット・ハルーンロケット空力翼艇を製作し実験工作し考えながら飛ばす。		
15	タイコを作って演奏しよう	令和元年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	夏休み子ども向けWS企画。 フィアホールとの運動事業(地域連携事業)として参加。 たまプラーザ地域ケアプラザでは、障害児向け事業としての一面も持たせる。	4: 子ども・青少年	5	青葉区内の運動事業に参加する地域ケアプラザごとに小学生向けを前提としたWSを行い、フィアホールで行われる打楽器イベントにWSで作った楽器を持参して一緒に演奏を楽しむ。 「おもちゃのひろば」連布久さんを講師に		

